

[クリーンインストール](#)
[デフラグ](#)
[デスクトップ](#)
[アンチウイルス系](#)
[グラボのドライバ設定](#)
[パフォーマンスメモリ](#)
[DLL開放](#)
[常駐サービスの停止](#)
[軽量化まとめ](#)
[回線速度](#)
[TcpAckFrequency調整](#)

[変更方法](#)

[Tuneappを使った変更](#)
[Comfortable PCを使った変更](#)

[コメント](#)

クリーンインストール

Intel は、次の順序で OS のセットアップをすることを推奨しています
順序を守らないとパフォーマンスに最大で約 200% の差が生じる場合があります
以下の順序でセットアップをおこなってください

1. Windows OS のインストール (SP+メカ 等で ServicePack & HotFix 適用済OSセットアップディスクを作成し
ておくにより良い)
2. Service Pack および Hotfix のインストール
3. (AMD の場合は Processor Driver のインストール)
4. Chipset Driver のインストール
5. DirectX のインストール
6. (Intelの場合は Application Accelerator のインストール)
7. VGA Driver のインストール
8. その他 Device Driver のインストール
9. 各種 Software のインストール

デフラグ

HDD内のファイルを並び替え断片化を防ぐ。
デフラグをするとアクセス速度が上がる。
アイテム大幅追加等の規模の大きいアップデートを目安にやるといいかもしれない
<http://arena.nikkeibp.co.jp/tokushu/gen/20051007/113796/index21.shtml>

デスクトップ

デスクトップにファイルなどを極力置かないようにする

もしファイルがある場合はマイドキュメントなどにまとめておく
デスクトップにはマイコンピュータとゴミ箱だけあれば良い(ゴミ箱だけでも構わない)
また、デスクトップで右クリック>プロパティで出てくる「画面のプロパティ」でアイコンを減らすことが可能
「画面のプロパティ」デスクトップタブ下部の「デスクトップのカスタマイズ」から行なう
壁紙も「なし」に設定

視覚効果~

コントロールパネル>システム>詳細設定>パフォーマンスの設定>視覚効果
パフォーマンス優先にすると結構軽くなる
見た目をあまり変えたくないならば
@ウインドウとボタンに~

@スクリーンフォントを滑らかに
@デスクトップのアイコン名に
以外はチェックをはずす
見た目にこだわらないのであれば「パフォーマンスを優先する」にチェックを入れればOK
<http://arena.nikkeibp.co.jp/tokushu/gen/20051007/113796/index17.shtml>

アンチウイルス系

ノートン、ウイルスバスターなどは常駐するだけでかなり重い
セキュリティソフトの乗り換えを検討しているのなら、フリーソフトのAVGやavastが軽く邪魔にもならないのでお勧め

<http://www.avg-japan.com/content/view/36/37/>

<http://www.forest.impress.co.jp/lib/inet/security/antivirus/avast.html>

これらのフリーソフトのアンチウイルスソフトを利用する場合(特に英語表示のままでの利用)は、警告画面などの知識をしっかりと覚えよう(市販ソフトも同じく)

Avast!ウイルス定義080404-0よりFEzero_Client.exeをWin32:Trojan-gen {Other}と検出する仕様に、

標準位置へのインストールでの対処法を付記(常駐保護を外すのは自己責任でお願いします)

Avast!トレイアイコンをダブルクリックor右クリックでオンアクセス保護の管理を開き

詳細(D) > 標準シールド > 詳細な設定(C) > 追加設定 > で開く画面の追加ボタンを押し、パスの変更の文字を変更し追加することでFSフォルダのみを常駐保護管理外に置くことが可能。

2009/9/25現在の最新版、Avast!4.8 HomeEdition (Build Aug2009 4.8.1351) + VPSファイル 090924-0 にて、

上記設定なしでもFSクライアントが起動するので、ウイルスと誤認する問題は解消しているようです。
(もっと以前から解消していると思いますが...)

グラボのドライバ設定

クオリティよりパフォーマンス重視の設定
アンチエイリアシングや異方性フィルタリングなどオフ

ドライバ設定

Atiならば「Catalyst」のユーザーインターフェース「Catalyst Control Center」
Nvidiaならば「ForceWare」の「NVIDIAコントロールパネル」から行なう。

SPECは十分なのにフリスタをプレイ中にOSごと落ちる、

原因不明のエラーが多発する場合にはFF専用ドライバ(http://www.nzone.com/object/nzone_FinalFantasyXI_downloads.html)を

導入すると症状が出なくなり快適にプレイできる事がある。(但し何が起きてても自己責任で!)

パフォーマンスメモリ

仮想メモリとはHDDをメモリとして扱うことである(が、HDDはメモリと違い圧倒的にアクセス速度が遅い)。

注意：メモリが1GB未満の場合の人の対策であり効果が見込めない場合は元に戻す

コンパネ > システム > 詳細設定 > パフォーマンスの設定 > 詳細設定
プロセッサのスケジュール・メモリ使用量の両方とも優先を【プログラム】にチェックする
また、仮想メモリのところは変更を押して

【カスタムサイズ】を選んで【初期1536】【最大1536】と入れて設定を押す

この値はメモリ搭載量の3倍くらいが適量：512x3 = 1536

ただし、1GB以上積んでいるのならページファイル無しの方がよい

何故同じ値かということと仮想メモリの差異を無くし断片化を防ぐため

<http://www003.upp.so-net.ne.jp/shigeri/speedup/speedup2.html>

DLL開放

アプリケーション本体とは別に読み込まれる DLLファイルは、アプリケーション終了後もしばらく物理メモリに保持されます

これを常に解放する設定にすることにより、物理メモリの圧迫を防ぎます

<http://trendy.nikkeibp.co.jp/article/tec/winxp/20040109/106866/>

「スタート」メニューから「ファイル名を指定して実行」を選び「regedit」と入力、レジストリエディタを起動する
HKEY_LOCAL_MACHINE SOFTWARE Microsoft Windows CurrentVersion Explorerとキーをたどる

「Explorer」を右クリックして「新規」-「DWORD値」と選択し、「AlwaysUnloadDLL」というキーを作る

「AlwaysUnloadDLL」をダブルクリックして「値のデータ」に半角数字で「1」と入力

Windowsを再起動すると、アプリケーションの終了とともに、アプリが使用していたDLLファイルもメモリーから削除される

常駐サービスの停止

タスクマネージャのプロセスにあるsvchostの大半はこういう常駐サービス関連である。

なので不要なサービスは停止することでメモリ使用量を減らすことが出来る。

スタート>コントロールパネル>管理ツール>サービスで設定変更可能

ここを参照して自分の環境に不要なサービスは停止、無効にするといいだろう。

<http://gtr.z.s7.xrea.com/doc/svc.php>

<http://www.kenji-net.com/contents/win/winxp.html> (バックグラウンドで実行されているプログラムを停止の項参照)

印は停止しても殆ど問題のないサービス

ClipBook

Computer Browser(LAN環境などで2台以上でフォルダの共有を行なっている場合は自動のままに)~

Error Reporting Service

Messenger(Windowsメッセージとは別物)

NetMeeting Remote Desktop Sharing~

Network DDE

Network DDE DSDM

Performance Logs and Alerts

Remote Registry(ネットワーク経由でのレジストリ操作なので切るべき)

Server(LAN環境などで2台以上でフォルダの共有を行なっている場合は自動のままに)

System Event Notification(COM+関連、切っても問題ない)

Task Scheduler(タスク設定しないのであれば停止)

Wireless Zero Configuration(無線LANを使わないのであれば無効で)

軽量化まとめ

Windowsの快適化 > XP編

<http://www.kenji-net.com/contents/win/winxp.html>

Windows XP の動作を軽快にしたい

http://www.mtblue.org/pc/tips/speed_up_xp.php

あ！早い！と感じるWindows XP 高速化

<http://www.a-windows.com/>

疎くて分からないという方にはComfortable PCというツールをお勧めします。

各項目のメリット/デメリット説明があり、上記のサービス関連の他に

ネットワーク関連の調整、TAFの設定も出来るので便利です。

<http://pc-zero.jp/pages/software.html>

回線速度

光回線ならば推奨MTUは1438(ISPにより違う)

MTUは接続環境に合わせた最適値にしてください。プロバイダによっては最適値が示されている場合がありますので検索参照のこと。

疎くて分からないという方にはComfortable PCというツールをお勧めします。
各項目のメリット/デメリット説明があり、上記のサービス関連の他に
ネットワーク関連の調整、TAFの設定も出来るので便利です。

<http://pc-zero.jp/pages/software.html>

仕方なく無線LAN環境の場合
子機にUSB接続タイプはFSというCPU負担型ネットゲには向かない、
無線でなくては回線が確保できない人はPCI接続タイプをお勧めする。
USB=CPUパワー食いまくり PCI=チップセット能力で処理

TcpAckFrequency調整

通称TAFと呼ばれるもの。
未解決のTCP受信確認数がいくつになったら遅延ACKタイマを無視するかの設定。
一般的に大きなデータをやり取りする場合は大きい値、
小さいデータの場合は小さい値のほうが応答速度が改善されます。
デフォルト値は2となっている。
通信回数が増大するため、通信機器の負荷が増加します。
ルータによっては異常な発熱したり、処理限界を超えて通信に異常が発生する可能性があります~
最悪の場合はルータが壊れる可能性があります。
これを変更するにはWindowsのレジストリを変更する必要があるため、
最悪の場合はWindowsが起動しなくなってしまいます。
フリーソフトの中にはこれらを設定することが可能なものがあります。

また、レジストリを変更しても効果が見られない場合は設定が間違っている可能性が高いです。
WindowsXPの場合、正しく設定しているのに効果が見られないバグがあります。
これは、ServicePack2を導入することで修正されます。

メリット

応答速度が改善されるので、PINGが低くなります
各キー操作のゲーム内反応速度が上昇します。
位置ズレがそこそこ修正されます

デメリット

大きなファイルのダウンロード速度が低下する可能性がある（ファイル共有利用者レベルの話）
通信機器やネットワークの負荷増加（ISPから苦情が来た場合は元に戻しましょう）

httpのコネクションがSYN_SENTで停止してしまっている場合はTAFによる悪影響の可能性があり、
通信相手によってはDoS攻撃と見なされる場合がある。

という難しい話があるらしい。

変更方法

Tuneappを使った変更

+ ...

Comfortable PCを使った変更

+ ...

コメント

名前:

書き込む